

消費者目線の商店活性化 提案 常葉大造形学部 清水区で発表会

常葉大造形学部(静岡市葵区)はこのほど、授業の一環で考案した草薙商店会(同市清水区)加盟店舗活性化プランの発表会を、同区で開いた。学生は4月からの3カ月間、消費者目線で従来の仕組みを見直す「デザイン思考」の手法を用いて商店の課題解決策を探求した。発表会では眼鏡店の新規顧客開拓に向けたアクセサリー開発や、家電販売店による周辺店舗を巻き込んだフリーマーケット開催などの企画を提案した。同商店会やまちづくりに取り組む一般社団法人「草薙カルテッド」の協力を受けてプランを検討した。各店舗は学生のアイデアを参考にしつつ、店舗の魅力発信に向けた事業革新を今後検討する。同学部の村井貴准教授は「現場の課題を踏まえ、アイデアを生み出す貴重な機会となった」と振り返った。



商店活性化に向けたプランが示された発表会＝静岡市清水区